

第19期（2017年度）事業計画（報告）

災害支援関連では、東日本大震災をはじめ、熊本地震、兵庫県佐用町、兵庫県丹波市、での活動を継続していきたいと考えている。岩手県野田村については、チーム北リアス（青森県八戸高等専門学校、青森県弘前大学、など）のネットワーク団体と情報交換しながら、これまでの支援の形にとらわれず、変化する被災地のニーズに寄り添った形での支援の継続を考えていきたいと思っている。また、福島県郡山市については、引き続き NPO 法人ハートネットふくしまの活動を間接的に支援したいと思っている。地元西宮の県外避難者の支援については、KSN（関西学院大学・災害復興制度研究所、西宮市社会福祉協議会、NVNAD が主体）主催での交流イベントや学習・遊び支援活動の継続を行いたい。ただし、新たに大規模な災害が発生した場合は、近畿ろうきんの社会貢献預金「すまいる」制度を活用して活動可能な範囲で迅速な対応をしていきたい。

平常時の活動については、防災まちづくり活動、講座・講演活動、ネットワーク活動の3本柱の活動を中心に、加えて今後の災害に備えて、地元西宮で「防災ウォーキングイベント」や「災害ボランティア養成講座」などの事業を実施したいと考えている。また、「休眠預金」の活用が2年後からスタートすることを踏まえて、新規事業の検討と財源の確保に積極的に働きかけると同時に、将来を担ってもらえる若手人材の発掘と養成にも取り組んでいきたいと思っている。

I. 災害救援の活動

1. 救援活動

- ・東日本大震災の支援活動

活動内容：①被災地の支援活動（岩手県野田村、福島県郡山市、など）

②西宮市内での避難者支援活動（KSNプロジェクト）

- ・兵庫県佐用町水害の支援活動
- ・兵庫県丹波市土砂災害の支援活動
- ・熊本地震の支援活動

II. 次の災害に備えるための防災(広報・啓発等)の活動

1. 地域防災活動

- ・子ども防災クラブ
- ・子ども森林体験ツアー など

2. 防災意識高揚のための取り組み

- (1) 災害や防災に関する講座・研修等の受託事業
- (2) 講演等の受託事業

3. ネットワークの拡充

- (1) 全国災害救援ネットワーク (J ネット) 総会
- (2) ひょうご市民活動協議会 (愛称: ひょうごん)
- (3) 災害救援ボランティア活動支援関係団体連絡会議 (兵庫県)
- (4) チャリティカレンダー市

4. 新規事業の企画 (案) ・ ・ 収益 (事業、会費、寄付など) を高めるために

- (1) 防災ウォーキングイベントの企画 (テーマ「防災」と「健康」)
- (2) 八百屋プロジェクト (被災地のお米や野菜を西宮で PR 販売)
- (3) 若手育成プロジェクト (次世代のリーダー育成)
- (4) 財源確保のための新規事業企画 (休眠預金や基金づくりなどの学習会)
- (5) 役員・職員合同合宿企画 (事業の検討と交流)
- (6) 災害時の安全靴プロジェクト (アドバイザー契約など)

など